



所信表明

6月定例議会で島田幸三市長が示した今後の所信表明の概要を紹介します。



小美玉市長 島田 幸三

さらなる発展へ

令和4年4月30日より、小美玉市長として市政運営を担わせていただくことになりました。合併から現在までの小美玉市の歴史を振り返れば、島田穰一前市長

のもと、「均衡ある発展」のために、常に市民との対話を重視し、地域振興、市民福祉の向上に積極的取り組み、市全体が発展できる礎を築きました。前市長から引き継ぎましたバトンの重さを改めて感じ、これからの市政運営を担っていく重責に、凛と背筋が伸びる思いがあるとともに、市長に就任できたことは、私にとって大変光栄であります。

しかしながら、これから歩む私たちの先には、新型コロナウイルスとの闘いや、コロナ禍で疲弊した地域の経済対策をはじめ、少子高齢化に伴う様々な問題や想定外の自然災害への対応など、困難な問題が待ち受けております。

これらの多くの困難な問題も市民と行政が一丸となって知恵を出し合うことで、乗り越えていけるのではないかと信じております。今こそ皆

2つの行財政改革

5つの重点施策を遂行するにあたり、2つの行財政改革をすぐに着手する必要があると考えています。

①DX(デジタルトランスフォーメーション)推進

デジタル技術やデータの活用による行政手続きの効率化・簡素化を進め、市民の申請手続きなどの負担軽減や行政手続コストの削減を図ります。そのため、本年9月を目標に策定する「小美玉市DX推進計画の実施計画」に基づいた改革を進めていきます。DXの推進は、デジタル活用に不慣れな方にも配慮しつつ、市民目線での利便性向上を第一に考え実施していきます。

②市役所職員の人材育成・意識改革

行政のDX化や市民ニーズの多様化・複雑化に対応するためには、職員一人ひとりの能力の向上と意識改革が不可欠です。行政のDX化に適応し、市民のニーズに柔軟に対応できるよう、職員研修を充実させ、市民と職員との交流を通し、職員の個性や能力を最大限に発揮できる人材づくりを行っていきます。

4つの中長期ビジョン

市民の皆さまの声を丁寧に聴きとりながら、国・県・関係市町村と連携を深め、早期実現に向け取り組んでいきます。

1 国道6号の4車線化

慢性的な交通渋滞が発生している国道6号は、大規模災害発生時の緊急輸送道路として重要な役割を担っています。「小美玉道路(仮称)」の早期実現へ、地域の皆さまの意見を踏まえ、事業の推進を国に強く働きかけていきます。

2 高浜駅橋上化

JR羽鳥駅の自由通路と橋上駅舎が供用開始された一方で、JR高浜駅の橋上化を望む市民の声を多くいただいています。石岡市の意向を確認した上で協議を重ね、高浜駅の利用者の負担軽減に向けた取り組みを検討します。

3 霞ヶ浦二橋建設の推進

霞ヶ浦二橋は、今後、30年以内に約7割の確率で起こると言われている首都直下型地震が生じた場合のライフラインとなります。関係市町村・団体との連携を強化しながら、国・県へ粘り強く早期実現に向け要望していきます。

4 つくばエクスプレス茨城空港延伸

近隣市町村と各種団体で構成されたTX水戸・茨城空港延伸促進協議会を設立し、県へ延伸に向け要望活動などを行います。また、市独自の取り組みとして新たにTX茨城空港戦略室を設置し、茨城空港延伸に取り組んでいきます。

で結束して、様々な問題を解決し、住みやすく、魅力的な小美玉市の新時代を築いていかなければなりません。

人口減少に負けないまちづくり

我が国は、人口減少、少子高齢化の進行が大きな社会問題となつていきます。本年4月1日時点で、全国の半数を超える自治体が過疎地域として指定され、茨城県においても、11自治体が過疎地域として指定を受けています。本市においては、平成12年から令和2年までの20年間で、国勢調査人口が4,500人減少しています。しかし、本市は茨城県のほぼ中央に位置し、霞ヶ浦にも面し、空の玄関口となる茨城空港を有しています。また、養鶏や酪農が盛んなほか、全国に誇れる多様な農産物も生産していることから、さらなる発展の可能性が

あると確信しています。

本市の可能性を最大限に発揮できるよう、まちづくりを進めることにより、本市を飛躍的に大きく発展させていきたいと考えています。

至誠惻怛の精神で

幕末期の陽明学者である山田方谷は、「政治に最も大切なことは、誠意を尽くして人を思いやる心をもって取り組む『至誠惻怛』であり、初めから華やかな業績を上げようなどと考えてこれを行えば、それはただ自分一人のためにしたことにはすぎない」と説いています。

市民の皆さまから頂いたご意見をしっかりと受け止め、時代の変化を敏感に感じ取りながら、「至誠惻怛」の精神を忘れず、これからの本市にふさわしいブランドデザインを描き、本市の発展に尽くしてまいります。

5つの重点施策

重点施策1

教育の振興

子どもたちの学びを妨げることがない教育環境の整備を進め、対面とデジタルを組み合わせたハイブリット教育を進めていきます。また、外国語教育を推進し、グローバルな社会で活躍できる人材を育成します。本市の豊かな資源を活用し、地域の伝統や文化を継承するとともに、豊かな心、郷土を愛する心を育てていくため、地域と共にある学校づくりを進めていきます。

重点施策3

福祉の振興

住み慣れた地域で生涯安心して健康に暮らしていけるよう、高齢者福祉や障がい者福祉を充実し、健康寿命を延ばす取り組みを推進します。また、妊娠中も健やかに過ごし、安心して出産を迎え、楽しく子育てができるよう、切れ目のない支援体制を強化していきます。すべての人が生き生きとした生活を送ることができる、お互いに尊重し支え合うまちづくりを進めていきます。

重点施策5

商工観光の振興

茨城空港と空のえきそ・ら・らを拠点に、市内の名所や飲食店などを周遊できる環境整備を行い、県や他自治体と連携したナショナルサイクルルートを活用する事業を推進します。公共交通や意欲ある商店街と連携しながら、茨城空港周辺と一体化したまちづくりを行います。新たな関係人口の掘り起こしや交流人口の拡大を図り、地域の観光資源を最大限に活かしていきます。

重点施策2

農業の振興

本市の農業を継続・発展していくため、収益性の高い事業を展開できる、経営感覚に優れた農業経営者を育成する取り組みを行います。また、農畜水産物の付加価値を高めるため、ブランド化や6次産業化を推進します。ICTなどの新技術の導入による生産性向上と農作業の負担軽減を図り、産官学の連携した取り組みを検討し、持続可能な農業を目指していきます。

重点施策4

地域防災の振興

救急救命士などの有資格者の採用や、消防団員の処遇改善、消防団員OBで構成される支援団員制度などの導入を検討します。防災訓練など、地域のリスクに応じた市民による防災活動を支援します。犯罪を抑制し、市民の安全・安心を確保するため、防犯カメラの増設など、地域における防犯活動に対して支援を行っていきます。

